

# 錦上添花

錦ヶ丘中学校  
学校便り  
6月28日発行 NO.10  
文責 出崎 友英

## 見えない壁を破る。

先週開幕した市中総体(中体連)大会は、連日各競技で熱戦が続いています。一生懸命に頑張る選手たちの姿に胸が熱くなります。

人間が走り高とびで飛べる高さは、オリンピックの選手でも2m40cm程度で、身長2倍にも足りません。

それに比べると、ノミはとてジャンプ力があります。もしノミの身体が人間ぐらいの大きさだったら、そのジャンプ力は東京スカイツリーを飛び越えてしまうくらいだそうです。このノミを小さなビンに入れます。すると、ノミは逃げようとして勢いよく何度も跳びはねて、ビンの外に飛び出します。

そのビンに透明のふたをします。

ジャンプしたノミはそのふたにぶつかって、ビンの底にたたきつけられてしまいます。何度もジャンプしては、何度もビンの底にたたきつけられることを繰り返すうちに、ノミは「もう逃げられない」と感じたのか、それともぶつかってたたきつけられるのが痛いのか、ある時からビンのふたにぶつからない程度に手加減してジャンプするようになるのだそうです。

そこで、今度はビンのふたをとってみます。いつものジャンプ力だったら、ノミは楽々とビンの外に出ることができていたはずです。➤



ところが何度も壁にたたきつけられたノミは、もうその高さまで飛ぼうとはしなくなっています。そしてこのノミは、そのビンから二度と飛び出すことはできなくなっているのだそうです。

私たちも人生の中でさまざまな体験をしていくうちに、このノミの話のように、自分に対して無意識に見えない壁をつくり出しはしていないでしょうか。ちょっとした困難に出くわして、すぐに「自分にはとても手に負えない。」「これ以上やっても無理だ。」「めんどくさくていやだ。」「きつくてやりたくない。」とあきらめることはないでしょうか。

もしかしたらそれは、自分が勝手につくり出した見えない壁なのかもしれません。本当はありもしない壁を、あるものと思いこんでしまい、突破できるはずの壁なのにあきらめてしまうことで、それを破れなくなってしまいます。

「自分の本当の力はこの程度ではないはずだ。」と信じて、勇気を持ってジャンプすべき時が、君たちの人生の中にはきっと何度もあるはずですよ。

中総体では、努力して自らの壁を破り乗り越えてきた選手たちの姿が随所にありました。それは勝敗をこえてとても価値のあることだと、私は思います。

生徒の皆さん、これからも自分の限界という見えない壁をひとり一人が突破していきましょう。

## 市中総体大会、開催中です。

6月21日に開幕した中総体(中体連)大会は、各競技で熱戦が繰り広げられています。これまでに、団体では男子バレー部が優勝、女子バスケットボール部が準優勝、女子バレー部が5位、また個人戦では、男子テニスシングルスで3年●●●●くんが準優勝、バドミントン男子シングルスで3年●●●●くんが3位、剣道男子代表で3年●●●●くんがベスト8などの好成績をおさめました。あと一步のところまで、目標としていた結果に届かなかった団体・個人もありましたが、勝敗に関わらずそれぞれの選手が一生懸命に頑張っている姿は、見ている人たちの心を強く打ちました。雨で延期された種目もあり、熱い戦いはまだまだ続きます。がんばれ! 錦ヶ丘中!

## ◆お知らせです。

○6月22日(土)、23日(日)に開催された熊本県通信陸上競技大会で、2年女子800mで●●●●さんが優勝しました。同じ低学年女子4×100mリレー(2年●●●●さん、1年●●●●さん、1年●●●●さん、2年●●●●さん)も優勝しました。強い雨が降る厳しいコンディションの中で、懸命に力走していました。皆さん、優勝おめでとうございます。

○6月24日(月)の放課後、今年度第1回の「放課後自習教室」がありました。希望した生徒たちが、それぞれ自学に取り組んで、講師の先生方に質問をしたり、生徒同士で教え合ったりする姿もありました。この日は昨年度に比べてさらに参加者が多く、講師の先生方も喜んでおられました。

放課後自習教室は、原則月曜日と水曜日の放課後に開催されます。

生徒の皆さんの多くの参加を待っています。



人生は努力した時間と経験で  
形づくられる。

「先生のコトバ集」よ

